



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発効日 2017年11月13日

発行NO 2017 - 4号

- 第48回衆院選は自民党が過半数の議席を獲得し大勝
- 11月1日、第4次安倍内閣が全閣僚を再任させて誕生
- 補正予算の編成や日欧EPA国内対策を急ぐと表明

- 全ての閣僚を再任させて第4次安倍内閣が発足し、12月9日までの会期39日間で特別国会がスタートしました(なお、副大臣・政務官も全員再任となりました)。
- マスコミ報道等によると、年末に向けて農林水産業の強化策などを盛り込んだ今年度の補正予算案の編成作業を指示されたようです。
- 具体化されていない国内対策を、しっかり予算措置するには、TPP11での発効に向けた大詰め交渉、日欧EPAの最終合意等、タイトな政治日程の中で年内作業に当たることになり重要局面が続きます。
- 平行してTPP大筋合意を受けて策定された「農業競争力強化プログラム(H28-11-29決定)」を、その後の状況変化を踏まえて見直しする作業等も見込まれており、今後国内対策を具体化するために多くの環境整備が必要で、今後の状況を注視していく必要があります。

全日畜コーナー

○ 基金協会理事長会が商系三団体との意見交換会を実施

関東9都県と東北6県の基金協会理事長会は、基金制度を中心に今日の畜産・飼料業界等を取巻く情勢について、商系三団体と意見交換を実施しました(関東:10月5日、東北:11月7日)。

会議では、国政選挙が終わり今後はタイトなスケジュールで国際貿易交渉の結果を踏まえた国内対策を含む補正予算が編成される模様であり、しっかりした対応が必要との認識を共有しました。

(写真上は東北6県理事長会議の様子から、司会は幹事の宮城県基金協会青沼理事長)



○ 青森県全日畜が総会記念講演会を開催(約100名が参加)

青森県全日畜は、11月10日第8回通常総会を開催し、この記念行事として今年も記念講演会を開催しました。講師は、畜産環境整備機構の副理事長 原田英男氏(前、農水省畜産部長)で、「日本の畜産・発展と展望」と題して、タイムリーでご示唆に富んだご講演をいただきました。

(写真中はご講演中の原田英男氏)



○ 全日畜のALIC事業(養豚調査)は順調に進捗中

全日畜が初めて参加したALIC事業(養豚農業実態調査)は、養豚主産地5県の関係者の協力を得てアンケート調査を実施中です。

(写真下は関係者に調査要領を説明する様子)



○ 12月に運営委員会と理事会を招集

6月から金子新理事長体制でスタートした全日畜は、上期の諸活動を総点検して下期の活動に向けたため、12月6日運営委員会、12月11日理事会を招集し審議をお願いすることとしました。

(文中での団体の略称表記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

国会・農水省等コーナー

- 11日(土) 茂木経済再生相は、昨年2月に米国を含む12ヶ国が署名したTPPのフルプランについて、米国を除く参加11ヶ国が、主に米国の要求を反映して盛り込まれた著作権保護や紛争解決方法などの20項目を凍結(棚上げ)した新協定「包括的及び先進的なTPP (CPTPP)」について大筋合意したと発表しました。今後は、最終的な協定文の詰めと署名を経て発効に必要な国内手続きを行うこととなります。
- 環境省は、13日(月) 島根県松江市において11月5日に回収されたコブハクチョウ1羽の死亡個体から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)が検出されたと発表しました。農水省は、渡り鳥の飛来が本格化し家禽飼養農場への侵入リスクが高まります。畜産関係者への防疫対策の徹底を呼びかけています。

畜産物情報コーナー

○畜産の情報 (ALIC広報誌11月号から)

農畜産業振興機構(ALIC)は、直近の国内における畜産物の需給動向を次のとおり報告しています。詳細はALICのホームページをご覧ください。(※は、平成29年8月の需給状況等から)

- ☆ 牛肉 牛肉生産量、6ヶ月連続で前年同月を上回る。
※生産量は2万5762トン(前年同月比0.5%増)。和牛1万768トン、乳用種7909トン。
- ☆ 豚肉 8月の豚肉生産量、2ヶ月連続で前年同月割れ。
※生産量は7万86トン(前年同月比1.9%減)。輸入量は7万8428トン(同6.2%増)。
- ☆ 鶏肉 鶏肉在庫、増加傾向で推移。
※生産量は12万4487トン(前年同月比1.7%増)、輸入量5万2043トン(同13.2%増)。
- ☆ 牛乳・乳製品 北海道の生乳生産、減少幅が縮小。
※生産量は60万546トン(前年同月比1.6%減)。北海道が33万174トン(同0.1%減)。
- ☆ 鶏卵 鶏卵相場、需要期に向けて上昇基調。
※鶏卵卸売価格(東京、M玉)は1キログラム当たり194円(前年同月比2円高)。

工業会・全日基コーナー

○工業会が全国で「GAPセミナー」を開催

☆ 8月のアンケート調査を踏まえて全国でセミナーを開催

- GAPセミナー (9月6日開催 会場:東京都港区)
 - ・畜産生産者、飼料メーカー等約50名が参加
 - ・農水省関川分析官、中央畜産会守永部長を講師に
- 九州支部GAPセミナー (9月28日開催 会場:鹿児島市)
 - ・畜産生産者、飼料メーカー等61名が参加
 - ・農水省森川課長補佐を講師に
- 東北GAPセミナー (10月27日開催 会場:八戸市)
 - ・畜産生産者、飼料メーカー等46名が参加
 - ・農水省奥地課長補佐とGAP協会朝日マネージャーを講師に

(写真は東京会場でのセミナーの様子から)



○全日基が全国3ブロックで飼料基金関係説明会を開催予定 (全日畜も全会場に同行)

☆ 全日基は、平成29年度の第2四半期(7~9月)の価格差補てん「400円/トン」を発動。(速報2号を参照)

☆ 平成29年度「飼料基金関係説明会」の開催予定

- 東日本地区 11月28日(火) 13:30~ 会場:機械振興会館 6F 66号室(東京都港区)
- 西日本地区 11月21日(火) 13:30~ 会場:ホテル北野プラザ六甲荘 2F フェニール(神戸市中央区)
- 九州地区 11月22日(水) 13:30~ 会場:福岡朝日ビル 地下1階 16号室(福岡市博多区)

※管内の基金協会と契約製造業者の皆さんが参加し、H30年度の契約事務等について打合せされます。

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)